

取組事例発表

地域環境と廃棄物処理の共存を継続する

～山田婦人会様のご見学～

株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町、代表取締役社長：馬場 太一郎)は令和 4 年 11 月 29 日に山田婦人会の皆様にご訪問をいただき、実際の廃棄物処理現場をご見学いただきました。施設見学の中では地域環境を保全しながら廃棄物処理事業を継続する当社の取り組みについてもご説明をさせていただきました。

■ 廃棄物処理事業のご見学

当社では多種多様な廃棄物を受け入れ、焼却施設や乾式メタン発酵施設を始めとした廃棄物処理施設にて適正処理を実施しております。綾川町の自治会の皆様に、実際に廃棄物の処理に取り組む姿を見ていただくことで、情報を共有させていただき、当社の事業に興味関心を持っていただくことが重要と考えております。



焼却施設の現場視察



乾式メタン発酵施設のシステムのご説明

■ 環境負荷の低減の取り組みについて

当社では管理型最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で完全に浄化し、その後焼却施設で冷却水として利用しています。完全に浄化された汚水は、自然に戻しても影響はない水準ですが、安全性を最優先し、リサイクル利用を図っています。また、乾式メタン発酵施設では、廃棄物をメタン発酵させ、バイオガス（メタン、二酸化炭素の混合ガス）を生産しています。再生可能エネルギーであるバイオガスを場内施設で利用し、施設稼働による温室効果ガスの発生を抑制しています。今後も地域の皆様に信頼される企業を目指して、このような環境負荷を低減する安心安全かつ適正な廃棄物処理の継続に当社一丸となって取り組んで参ります。



当社の事業内容および CSR についてのご説明

本件に関するお問合先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com